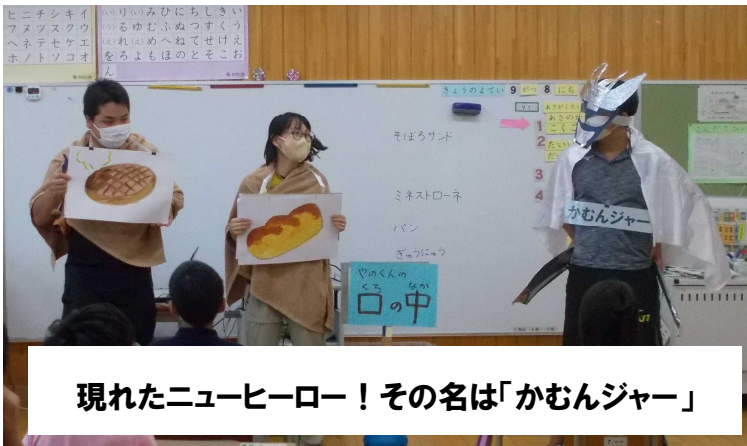


楽しくおいしく食べて健康に

給食満喫

ニューヒーロー誕生！-たいよう・さくら努力点授業より-

今年度、特別支援学級では「栄養バランスやそしゃくの大切さについて知り、栄養バランスや適切なそしゃくの回数を考えて食べることができる児童の育成」というテーマで実践を進めています。



現れたニューヒーロー！その名は「かむんジャー」

第1次実践では、学級担任と養護教諭によるTT指導で「かむことの大切さ」について学びました。

初めに流れたのは、ほとんどかまずに飲み込んでしまう「矢野くん」の食事動画。その後、その体の中の様子を学級担任が寸劇して見せました。

内容は次のようなものです。『しっかりかまずに食べられた食品たちは体が大きすぎて、胃の中から先に進め

ずに困っています。そこに現れたのがニューヒーロー「かむんジャー」です。かむんジャーの力を借りて小さくなると、体の中に素早く取り込まれてレンジャーとして活躍できるのです。食品たちは、かむんジャーに小さくしてもらおうと胃から先に進むことができました。そして、無事昨年度からおなじみの「栄養戦隊元気になるんジャー」に変身して、体の中で活躍したのでした。』



かむんジャーの力を借りると…



食べ物が細くなる！

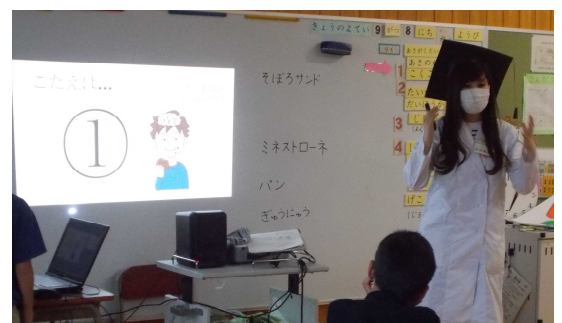


体内に吸収されて

栄養戦隊元気になるんジャー

寸劇でかむことの大切さについて学んだ後は、養護教諭から「かむことの効果」についてクイズで楽しく学びました。

最後に「かむんジャーからの挑戦状」が届きました。給食献立を30回かめるかという「かみかみチャレンジ」に、給食時間に一生懸命挑戦している様子が見られました。

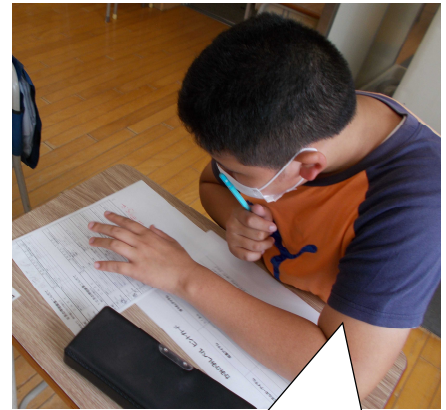


第2次実践は、学級担任と栄養教諭によるTT指導で「かみごたえのある食品」について学びました。ここでもまた動画を流しました。筑前煮は30回しっかりかんで食べているのに、ゼリーは5回ほどしかかめず困っている矢野くんの様子映し出されました。どうして困っているかを考えるために、皆で「食品のつぶれやすさ」の違いを体験しました。



ゼリー、こんにやく、にんじん(ゆで・生)をスプーンの背でつぶす体験を通して、食品のかたさや弾力の違いでつぶしやすさが変わるということを子どもたちは理解しました。栄養教諭から、よくかむためには、かみごたえのある食品を食べることが必要であることを学ぶと納得した様子が見られました。その後、こんにやくやごぼう、油揚げといった給食の「かみかみ食品」を献立表から探しました。

日常実践では昨年度から学習している食品の3つの働きの分類に加えて、かみごたえのある食品も探しています。給食時には、指折り30回数えながら食べている様子も見られます。よくかんで食べる習慣がしっかりと身に付くよう、今後も実践を続けていきます。



給食こぼれ話
 一 教育委員会視察の話一

十月五日、愛知県と名古屋市の教育委員会の
 方々が、熊の前小学校を視察にみえました。視察
 内容は、熊の前小の食育実践や給食指導の状況、
 給食調理場の衛生管理の状況など、給食に関する
 すべてのことです。友田にとっては、胃が痛くな
 るような一日でした。
 給食時には、廊下から子どもたちの給食時間
 の様子を視察されたのですが、最後の指導・講評
 でもともうれしい言葉をいただきました。
 「しっかりと黙食ができていますが、教室の雰囲気
 は全く重苦しくない。黙って食べていても、楽
 しそうな雰囲気が伝わってくる」
 そうなんです。熊の前小の給食時間は、雰囲気
 がとても「楽しい」のです。これは間違いなく、
 くまっ子たちが発してくれる給食を楽しむ雰囲気
 のおかげです。それが伝わっただけでも、視察は
 大成功だと思っています。が、視察の真の理由は
 「学校給食実施上、優れた成果を上げているか」
 子どもたちも、保護者の皆様も、先生方も、みん
 なが「楽しく」食育に取り組んでいる！これが熊
 の前の強みだと私は思っています。それがしっか
 り評価されることを信じています。余談ですが、
 当日の給食時間は、給食について小話放送だけ
 なく、給チューブの放送も行いました。いつにな
 り超盛りだくさんな内容に、きっと子どもたち
 も友田の必死さ伝わっていたでしょう。



☆ 内容が盛りだくさんのため2号連続レシピなしでしたが、次号からレシピも復活させます。